

## 第 65 回全国和裁技術コンクール結果報告

一般社団法人日本和裁士会は下記の要領で全国和裁技術コンクールを実施し、7名の審査員がオンライン配信による公開審査を行い、5名の大臣賞入賞者を選出しました。全国和裁技術コンクールは長らく、和裁技術の伝承と後継者育成を主目的に若手を中心とする競技会形式を採ってきましたが、65回を迎えた今年度から年齢・経験を問わず、和裁に携わる者であれば誰でも参加できる作品応募形式に切り替えました。新たな形式で初開催したコンクールは、総体的にレベルが高く、和裁技術者の底力が改めて実感されました。今後もますますの応募を募り、発展させていきたいと考えています。挑戦をお待ちしています。

- 日 時 令和3年12月20日(月) 13:00~16:00  
会 場 ナチュラック茅場町新館2階大会議室  
東京都中央区日本橋兜町12-7 兜町第3ビル
- 出 品 者 21名
- 審査内容 ①縫製時間(6時間を基準とし、1時間上回ると減点)  
②袖丈・袖口・口下・丸み  
③袖付け・振り・衿かぶり・身八ツ口  
④表衿付け・掛衿付け  
⑤裏衿付け・衿先・くけ  
⑥裾・裄・立裄  
⑦吊り  
⑧素縫い・中綴じ  
⑨仕上げ・こて当て  
⑩総体

### 第 65 回全国和裁技術コンクール入賞者

| 順位 | 賞       | 支部 | 氏名    |
|----|---------|----|-------|
| 1  | 内閣総理大臣賞 | 東京 | 黒澤あかり |
| 2  | 経済産業大臣賞 | 京都 | 山崎華子  |
| 3  | 厚生労働大臣賞 | 東京 | 根本あおい |
| 4  | 文部科学大臣賞 | 京都 | 近藤 愛  |
| 5  | 農林水産大臣賞 | 京都 | 山崎 恵  |

## 第 32 回きもの作品コンテスト結果報告

高校生以上の学生を対象に、学生自身がきものの構造を理解し、縫製した作品を募るきもの作品コンテスト。32 回目の今年は 3 校から 19 点の作品をご応募いただきました。甲乙つけがたい作品が揃い、若い感性によるデザイン性や素材の工夫などそれぞれに光る要素もありました。その中から愛知県立一宮高等学校の瀧花奈子さんの作品「水上花火」を最優秀賞の文部科学大臣賞に選出しました。和裁を指導されている高校におかれましては、ぜひご応募をご検討ください。

|      | 賞                | 学校名           | 出品者   | 作品名  |
|------|------------------|---------------|-------|------|
| 最優秀賞 | 文部科学大臣賞          | 愛知県立一宮高等学校    | 瀧 花奈子 | 水上花火 |
| 優秀賞  | (一社)全国技能士会連合会会長賞 | 多治見西高等学校      | 高柳咲七  | 冬の夜  |
|      | (一社)全日本きもの振興会会長賞 | 三重県立四日市農芸高等学校 | 明田真歩  | 三重の幸 |
|      | (一社)全日本きもの振興会会長賞 | 愛知県立一宮高等学校    | 島上仙理  | 継承   |
|      | (一社)日本和裁士会会長賞    | 愛知県立一宮高等学校    | 立崎希耶  | 鯉    |
|      | (一社)日本和裁士会会長賞    | 愛知県立一宮高等学校    | 重政優月  | はちみつ |
|      | (一社)日本和裁士会会長賞    | 愛知県立一宮高等学校    | 白井あさひ | 平安雅  |